

【理事会・評議員会に関する事項】

第1回理事会

1. 日 時 令和7年6月2日(月) 午前11時00分～11時45分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アドリア」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
4. 出席者 (敬称略)

理 事 寒河江 浩二(代表理事)
理 事 中 村 雪 子
理 事 杉 澤 栄 一
理 事 村 上 武
理 事 設 楽 雅 信
理 事 青 柳 安 展
理 事 阿 部 直 美
理 事 佐 藤 秀 之
理 事 三 浦 重 行
理 事 大 澤 賢 史(業務執行理事・館長) 以上10名
監 事 中 山 眞 一
監 事 長谷川 憲治
顧 問 黒 澤 洋 介
顧 問 高 橋 邦 芳
顧 問 菅 野 滋
オブザーバー

佐 藤 太 一(山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課・文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】 主な運営事業について

【協議事項】 第1号議案 令和6年度事業報告および決算(案)の件
第2号議案 評議員補充選任候補者(案)の件
第3号議案 理事補充選任候補者(案)の件
第4号議案 令和7年度定時評議員会開催(案)の件
その他

6. 議事の経過およびその結果

(1)開会

大澤館長(業務執行理事)より開会宣言があり、寒河江代表理事があいさつと事業報告に立った。寒河江代表理事は初めに、山形美術館の草創期から長きにわたって運営に関わり、15年間にわたって理事長を務められた相馬健一さんが5月15日に逝去されたことに触れ、

哀悼の意を表した。そして、令和 6 年度は新型コロナ禍から回復傾向にある中、入館者は令和 5 年度に比べてやや減少し 7,606 人減の 8 万 1,959 人となった。本年度は「まるごと馬場のぼる展」で幕を開けた。「11 ぴきのねこ」シリーズで知られる漫画家馬場のぼるの創作世界を紹介し、来館者は 3 万 253 人を数えた。平成 18 年度の「古代エジプト展」以来の 3 万人越えとなり、歴代 10 位の来館者だった。7 月から 8 月にかけては山形新聞・山形放送 8 大事業「古代エジプト美術館展」の開催が予定されている、などと述べた。

(2) 議長選出、定足数確認、議事録署名人について

大澤館長より「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、寒河江代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、横山事務局長が、理事総数 10 名に対し 10 名全員が出席しており、開催要件の定足数 6 名を充足していること、および監事 2 名、顧問 3 名、オブザーバー 1 名が同席することを報告した。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議案の審議に入った。

【報告事項】

主な運営事業について

横山事務局長が本年度の「主な運営事業について」報告した。「補助金等に関する事項」では、6 月 2 日までに山形新聞・山形放送、山形市、山形県から入金になった運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金の交付実績が紹介された。また「運営・管理等に関する事項」では、4 月 11 日から 5 月 25 日までの「まるごと馬場のぼる展」が好評で、入館者が 3 万 253 人だったこと、5 月 21 日に中山、長谷川両監事による令和 6 年度の監査が行われたことが報告された。

【協議事項】

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告および決算(案)の件

岡部副館長が「令和 6 年度事業報告」を行った。主な企画展は春の「カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション」、夏の山形新聞・山形放送 8 大事業「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」また、「第 79 回山形県総合美術展」「第 49 回山形県総合書道展」「第 59 回山形県写真展」そして冬季間には「山形の美術 山形美術館 60 年のあゆみとコレクション」などが開催されたことを報告した。続いて横山事務局長が「理事会・評議員会に関する事項」で開催日や協議事項などを報告した。また、「令和 6 年度運営事業について」は、「補助金等に関する事項」で、山形新聞・山形放送(3,520 万円)、山形市(3,000 万円)、山形県(2,175 万円)、県生涯学習文化財団(625 万円)からのそれぞれ運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金について交付実績を報告した。「運営・管理等に関する事項」では、第 1 回理事会と定時評議員会において、菅野滋館長が退任し後任に前山形県病院事業管理者の大澤賢史氏を新たに選任、菅野氏を顧問に新任したことなどが報告された。続いて大澤館長が「令和 6 年度決算報告」をした。貸借対照表では流動資産が 46,436,860 円あり、対前年比でマイナス 3,495,416 円、資産合計は 1,914,156,601 円。また、正味財産増減計算書では、当期経常増減額はマイナス 23,211,371 円となることが示された。

引き続き、監事を代表して中山監事が「令和7年5月21日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた」と監査報告した。

以上審議の後、寒河江議長が第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第2号議案 評議員補充選任候補者(案)の件

横山事務局長が「人事異動により役職変更になった大泉定幸評議員、平吹史成評議員、斎藤祐一評議員より辞任届が提出されているため、補充候補者を選任し、定時評議員会に提案、承認をもらう案件」と説明し、それぞれの関係職域を考慮し3名の候補者が提案された。

黒田 あゆ美 山形県観光文化スポーツ部長

松沢 聖 山形市文化スポーツ部長

舟山 和彦 山形県立博物館館長

※任期は前任者の残任期間となるので2027(令和9)年6月まで。

以上審議の後、寒河江議長が第2号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第3号議案 理事補充選任候補者(案)の件

横山事務局長が「寒河江浩二代表理事、村上武理事より辞任届が提出されているため、補充候補者を選任し、定時評議員会に提案、承認をもらう案件」と説明の後、それぞれの関係職域を考慮し次の2名の候補者が提案された。

峯田 益宏 山形新聞社取締役販売局長

後藤 好邦 山形市文化スポーツ部次長・文化創造都市課長

※任期は前任者の残任期間となるので2026(令和8)年6月まで。

以上審議の後に寒河江議長が第3号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第4号議案 令和7年度定時評議員会開催(案)の件

横山事務局長が「本日審議、承認された第1号、第2号、第3号議案については定時評議員会で承認される必要がある」と説明し、その日程案を示した。

《令和7年度定時評議員会開催(案)》

1.開催日時 令和7年6月17日(火) 午後1時より

2.開催場所 山形グランドホテル8階(山形市本町)

3.議事

【報告事項】

1.主な運営事項について

【協議事項】

第1号議案 令和6年度事業報告ならびに決算承認の件

第2号議案 評議員補充選任の件

第3号議案 理事補充選任の件

その他

以上審議の後、寒河江議長が第4号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

横山事務局長が、代表理事と顧問を選任する第2回理事会を6月17日午後2時から山形グランドホテルで開催する旨を連絡した。

7. 閉 会

寒河江議長が、以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ、午前11時45分に閉会を宣言した。

閉会宣言を受け大澤館長が、平成27年6月から10年間にわたって代表理事として山形美術館の運営に当たり地域の文化振興に尽力された寒河江代表理事に対して感謝を表した。続いて寒河江代表理事があいさつした。

定時評議員会

1 日 時 令和7年6月17日(火) 午後1時～1時50分

2 場 所 山形グランドホテル8階「アドリア」(山形市本町1丁目)

3 評議員総数および定足数

現総数 11名 定足数 6名

4 出席者(敬称略)

評議員 長谷川吉茂(議長)

評議員 平井康博

評議員 鈴木義孝

評議員 酒井忠順

評議員 高橋まゆみ

評議員 板垣正義

評議員 鈴木雅史(以上7名)

理事 大澤賢史(業務執行理事)

監事 中山真一

監事 長谷川憲治

オブザーバー 佐藤太一

(山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課・文化振興主査)

5 議 事

【報告事項】

1. 主な運営事業について

【協議事項】

第1号議案 令和6年度事業報告ならびに決算承認の件

第2号議案 評議員補充選任の件

第3号議案 理事補充選任の件

その他

6 議事の経過およびその結果

(1) 開 会

大澤賢史業務執行理事・館長が開会を宣言した。

(2) 議長選出および定足数確認について

大澤業務執行理事・館長が、定款に基づき評議員の中から議長を選出する旨を説明し、鈴木義孝評議員からの推薦発言を受け、長谷川吉茂評議員を議長に選出した。定足数について横山卓事務局長が、評議員 11 名中 7 名が出席しているため、過半数で開催要件の定足数を満たしていることを報告した。定款に基づき、議長以外の評議員から議事録署名人 2 名を選出することになっており、長谷川議長に一任することを全員が承諾した。長谷川議長が、鈴木義孝評議員と鈴木雅史評議員を指名し、満場一致で承認された。続いて議案の審議に入った。

【報告事項】

主な運営事業について

横山卓事務局長が令和 7 年度の主な運営事業について報告した。補助金に関する事項で、5 月 15 日に山形新聞社より 1 回目の運営寄付金 440 万円、5 月 23 日に山形県より令和 7 年度 1 回目の県博物館事業共催負担金 840 万円、5 月 30 日に山形放送より令和 7 年度 1 回目の運営寄付金 440 万円、6 月 5 日には山形市より令和 7 年度 1 回目の山形美術館運営費補助金 1 千万円を受領したことを説明した。また「運営・管理等に関する事項」では、4 月 11 日から 5 月 25 日までの「まるごと馬場のぼる展」が好評で、入館者が 3 万 253 人だったこと、5 月 21 日に中山、長谷川両監事による令和 6 年度の監査が行われたことなどを報告した。

【協議事項】

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告ならびに決算承認の件

岡部副館長が令和 6 年度事業報告を行った。主な企画展は春の「カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション」、夏の山形新聞・山形放送 8 大事業「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」また、「第 79 回山形県総合美術展」「第 49 回山形県総合書道展」「第 59 回山形県写真展」そして冬季間には「山形の美術 山形美術館 60 年のあゆみとコレクション」などが開催されたことが報告された。続いて横山事務局長が「理事会・評議員会に関する事項」で開催日や協議事項などを報告した。また、「令和 6 年度運営事業について」は、「補助金等に関する事項」で、山形新聞・山形放送(3,520 万円)、山形市(3,000 万円)、山形県(2,175 万円)、県生涯学習文化財団(625 万円)からのそれぞれ運営寄付金、運営補助金、事業共催負担金、助成金について交付実績を報告した。「運営・管理等に関する事項」では、第 1 回理事会と定時評議員会において、菅野滋館長が退任し後任に前山形県病院事業管理者の大澤賢史氏を新たに選任、菅野氏を顧問に新任したことなどが報告された。続いて大澤館長が「令和 6 年度決算報告」をした。貸借対照表では流動資産が 46,436,860 円あり、対前年比でマイナス 3,495,416 円、資産合計は 1,914,156,601 円。また、正味財産増減計算書では、

当期経常増減額はマイナス 23,211,371 円となることが示された。

引き続き、監事を代表して中山監事が「令和 7 年 5 月 21 日に長谷川監事と行った監査で、事業報告等は法人の状況を正しく示しており、また各計算書類、帳簿類は適正に処理されていることが認められた」と監査報告した。

以上、審議の後、長谷川議長が第 1 号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

第 2 号議案 評議員補充選任の件

横山事務局長が、大泉定幸評議員、平吹史成評議員、齋藤祐一評議員から辞任届けが出され、本定時評議員会終結の時をもって辞任する予定であるとして、その後任に第 1 回理事会で審議、承認された黒田あゆ美氏、松沢聖氏、舟山和彦氏を候補者として示した。

■評議員補充選任候補者

黒田 あゆ美	山形県観光文化スポーツ部長
松沢 聖	山形市文化スポーツ部長
舟山 和彦	山形県立博物館館長

※任期は前任者の残任期間となる 2027(令和 9)年 6 月まで。

評議員補充選任について、長谷川議長が一人一人諮ったところ、満場一致で承認された。

第 3 号議案 理事補充選任の件

横山事務局長が、寒河江浩二理事(代表理事)と村上武理事から辞任届が出され、本定時評議員会終結の時をもって辞任する予定であるとして、その後任に第 1 回理事会で審議、承認された峯田益宏氏と後藤好邦氏を候補者として示した。

■理事補充選任候補者

峯田 益宏	山形新聞社取締役販売局長
後藤 好邦	山形市文化スポーツ部次長・文化創造都市課長

※任期は前任者の残任期間となる 2026(令和 8)年 6 月まで。

長谷川議長が、理事の選任について一括審議の後、これを諮ったところ、それぞれ満場一致で承認された。

その他

大澤館長が吉野石膏コレクションの順次寄託解除に関して、「2025 年度中は寄託を受けたままになるため、できる限り県民に公開していきたい」などと説明した。

6 閉 会

長谷川議長が、以上をもって議案全ての審議を終了した旨を述べた後、本定時評議員会をもって退任する寒河江代表理事に対して感謝の意を表した。長谷川議長は午後 1 時 50 分、閉会を宣言した。

第2回理事会

1. 日 時 令和7年6月17日(火)午後2時～2時15分
2. 場 所 山形グランドホテル 8階「アルカス」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 現在数10名 定足数6名
4. 出席者(敬称略)

理 事 佐 藤 秀 之

理 事 中 村 雪 子

理 事 杉 澤 栄 一

理 事 後 藤 好 邦

理 事 設 楽 雅 信

理 事 青 柳 安 展

理 事 阿 部 直 美

理 事 峯 田 益 宏

理 事 三 浦 重 行

理 事 大 澤 賢 史 (以上10名)

監 事 中 山 眞 一

監 事 長 谷 川 憲 治

顧 問 黒 澤 洋 介

オブザーバー 佐 藤 太 一 (山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興
課・文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】 定時評議員会における理事補充選任承認の件

【協議事項】 第1号議案 代表理事選任の件

第2号議案 顧問選任の件

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1)開会

横山卓事務局長が、中山眞一監事、長谷川憲治監事、黒澤洋介顧問、オブザーバーの佐藤太一山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課文化振興主査の4名が同席する旨の説明をした後、開会した。

(2)議長選出、定足数確認、議事録署名人について

横山事務局長が、議長は定款により代表理事がこれに当たるとあるが、第1号議案の審議前であるために空席となっている旨を説明し、仮議長による議事進行の必要があるため、事務局案として中村雪子理事を仮議長として提案し、これを諮ったところ全員が同意した。

中村理事が仮議長に就き、定足数については、理事10名中10名全員が出席しており、開催要件の過半数である定足数を充たしていることを確認した。議事録署名人について、これから選任される代表理事と出席監事がこれに当たることを確認した後、議案審議に入った。

【報告事項】

定時評議員会における理事選任承認の件

横山事務局長が、第1回理事会で承認された理事補充選任候補者案の峯田益宏氏と後藤好邦氏について、本日令和7年6月17日午後1時からの定時評議員会で承認されたことを報告した。

【協議事項】

第1号議案 代表理事選任の件

横山事務局長が、代表理事は定款により「理事会の決議によって理事の中から選任する」旨を説明した。

説明を受けて、中村仮議長が意見を募ったところ、阿部直美理事より「代表理事に佐藤秀之理事を推薦する」との発言があった。他の意見が出なかったため、代表理事に佐藤秀之理事を選任する案を諮ったところ、満場一致で承認された。

ここで、議長が佐藤代表理事に代わり、就任のあいさつの後、議事を続行した。

第2号議案 顧問選任の件

横山事務局長が、顧問は定款により「顧問の選任および解任は、理事会において決議する」と定められている旨を説明し、事務局案として新顧問に前代表理事の寒河江浩二氏を提案した。佐藤議長が諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

発言はなかった。

7. 閉 会

他の役員から発言が出なかったため、佐藤議長が以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ、午後1時15分に閉会を宣言した。

第3回理事会

1. 日 時 令和7年12月19日(金) 午前11時～11時25分
2. 場 所 山形グランドホテル 3階「白鳥」(山形市本町1丁目)
3. 理事総数および定足数 理事総数10名 定足数6名
4. 出 席 者 (敬称略)

理 事 佐 藤 秀 之(代表理事)
理 事 中 村 雪 子
理 事 杉 澤 栄 一
理 事 後 藤 好 邦

理 事 設 楽 雅 信
理 事 青 柳 安 展
理 事 阿 部 直 美
理 事 峯 田 益 宏
理 事 三 浦 重 行
理 事 大 澤 賢 史(業務執行理事・館長) 以上 10 名
監 事 中 山 眞 一
監 事 長谷川 憲治
顧 問 黒 澤 洋 介
顧 問 寒河江 浩二
顧 問 菅 野 滋
オブザーバー 佐 藤 太 一

(山形県観光文化スポーツ部県民文化芸術振興課・文化振興主査)

5. 議 事

【報告事項】 主な運営事業について

【協議事項】 第 1 号議案 令和 8 年度山形美術館事業計画(案)の件
その他

6. 議事の経過およびその結果

(1)開会

大澤館長より開会宣言があった。

佐藤秀之代表理事があいさつに立ち、続けて事業報告した。本年度は「まるごと馬場のぼる展 描いたつくった楽しんだニャゴ！」で幕を開け、夏には「古代エジプト美術館展」を開催した。いずれも大好評を博し、「まるごと馬場のぼる展」の来館者は 3 万 253 人、「古代エジプト美術館展」は 5 万 2,899 人を数えた。令和に入ってから初めての来館者 5 万人台の展覧会となり歴代 5 位の快挙だった。その結果、11 月末の入館者累計が 11 万 6,520 人となり、2016(平成 28)年度以来 9 年ぶりの 10 万人超えを記録した。そして 12 月から来年 1 月にかけて「富岡鉄斎紅花商人ゆかりの㊤長谷川コレクション」「山形銀行所蔵品によるやまがたの風景」「吉野石膏コレクション名作展」を同時開催している。ぜひ多くの県民にご覧いただきたい。本日の理事会は、令和 8 年度の事業計画などについてご審議をいただく予定だ。十分なご審議をお願い申し上げると述べた。

(2)議長選出、定足数確認、議事録署名人について

大澤館長より「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、佐藤代表理事が議長に就いた。

議長より求められた定足数について、横山事務局長が、理事総数 10 名全員が出席しており、開催要件の定足数 6 名を充足していること、および監事 2 名、顧問 3 名、オブザーバー 1 名が同席することを報告した。議事録署名人については代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議案審議に入った。

【報告事項】

主な運営事業について

横山事務局長が「主な運営事業について」報告した。「登記・許可に関する事項」で8月26日に山形地方法務局への役員変更に伴う登記を完了し、山形県に電子届出を行った。「補助金等に関する事項」では、山形新聞・山形放送、山形市、山形県、山形県生涯学習文化財団からの運営寄付金、運営費補助金、事業共催負担金、文化団体等連携支援助成金について6月5日以降の交付実績を報告した。また、「運営・管理等に関する事項」では、夏の企画展「古代エジプト美術館展」の入館者が5万2,899人、8月の「第80回記念山形県総合美術展・第67回こども県展」の入館者が7,499人だったことを報告した。

【協議事項】

第1号議案 令和8年度山形美術館事業計画(案)の件

岡部副館長が「令和8年度事業計画(案)」の主な企画展を紹介した。春は、大石田町出身で京都・大原で自給自足の生活を営みながら、自然に向かい、戦後の水墨表現に独自の画境を拓いた小松均の全貌を紹介する「京都 大原に生きた画仙人 小松均展―自然をまなざす」。夏は、代表作「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめ多くの妖怪作品を生んだ水木しげるの原画などを中心に紹介する「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた」を予定していることなどを報告した。以上を審議の後、佐藤議長が第1号議案について諮ったところ、満場一致で承認された。

その他

大澤館長が事業報告した。

「クーリングタワーの更新」について、「本館屋上に設置されている冷房用クーリングタワー(冷却塔)は老朽化が深刻な状況で、更新工事を本年11月4日より実施している。請負業者は黒澤建設工業株式会社(山形市花楸二丁目)で12月中に完了見込みだ。県からの補助を受けている」と述べた。「高圧機器の更新」については、「電力会社から送られてくる高電圧電気を、美術館で使用可能な電圧に変換するための設備で、変圧器・変成器(トランス)や保護継電器(リレー)、コンデンサーなどで構成されるが、使用年数が40年以上経過し、更新推奨時期(15～20年)を大幅に超過している。また、4基ある変圧器の絶縁油には、低濃度PCBの含有が確認されている。低濃度PCB廃棄物は、「PCB特別措置法」によって、令和9年3月31日までに処分することが義務付けられている。このような事情から、令和8年度に高圧機器の更新工事を実施したいと考えている。工事費用は約1,700万円を予定している」と説明した。また「館内照明のLED化」については、「昨年度末(令和7年3月)から取り組んでいる館内照明のLED化だが、本年度末に第2期工事を実施する。3階展示室や階段室、ロビーなどが主な施工箇所、通常、来館者の目に触れる場所は今期で終了することになる。工事施工業者は第1期工事同様に株式会社トーホー(天童市東長岡4丁目)。工事費用は支出の平準化を図るため、完成した高効率設備のレンタル契約で対応する。契約期間は8年間で、レンタル料金は1カ月12万円程度になる見込み」とした。さらに「安達峰一郎記念財団が所蔵する作品の寄託」について、「公益財団法人 安達峰一郎記念財団は安達がヨーロッパなどで収集した美

術品を多数所蔵している。先般、絵画 43 点寄託の打診があった。藤田嗣治の 5 作品をはじめ、フランスのドービニー、ベルギーのクノップフ、庄内町名誉町民の内藤秀因の作品などがある。本年度、東北芸工大による修復作業が終了することから、寄託の申し出に至った。今後、寄託条件になっている展覧会開催、収蔵スペース確保、保険の費用負担、寄託契約期間などの検討、調整に入りたい」と述べた。

他に参加理事、事務局から発言はなかった。

7. 閉 会

佐藤議長が、以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ、午前 11 時 25 分に閉会を宣言した。

第 4 回理事会

1. 日 時 令和 8 年 3 月 9 日(月) 午後 1 時～1 時 40 分

2. 場 所 山形グランドホテル 8 階「アドリア」(山形市本町1丁目)

3. 理事総数および定足数 理事総数 10 名 定足数 6 名

4. 出 席 者 (敬称略)

理 事 佐 藤 秀 之(代表理事)

理 事 中 村 雪 子

理 事 杉 澤 栄 一

理 事 設 楽 雅 信

理 事 青 柳 安 展

理 事 阿 部 直 美

理 事 峯 田 益 宏

理 事 三 浦 重 行

理 事 大 澤 賢 史(業務執行理事・館長) 以上 9 名

監 事 中 山 眞 一

監 事 長谷川 憲治

顧 問 黒 澤 洋 介

顧 問 寒河江 浩二

顧 問 高 橋 邦 芳

5. 議 事

【報告事項】 運営事業について

【協議事項】 第 1 号議案 令和 8 年度事業計画(案)の件

第 2 号議案 令和 8 年度予算(案)の件

第 3 号議案 令和 8 年度資金調達及び設備投資の見込み(案)の

その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 開会

大澤館長が開会宣言した。あいさつに立った佐藤代表理事が続けて事業報告した。春に「まるごと馬場のぼる展 描いたつくった楽しんだ ニャゴ!」、夏に山形新聞・山形放送8大事業「古代エジプト美術館展」、秋には「小野皓一/サイトユフジ展」、そして冬には「富岡鉄斎 紅花商人ゆかりの㊤長谷川コレクション」と「山形銀行所蔵品によるやまがたの風景」を開催し、大好評を博した。また「山形県総合美術展」「山形県総合書道展」「山形県写真展」の3県展は、いずれも節目を迎えた開催となり、多くの県民に参加していただいた。令和7年度の来館者数は、3月6日に13万26人を数え、2006年以来、19年ぶりに年間で13万人を上回ったと述べた。

(2) 議長選出、定足数報告、議事録署名人について

大澤館長より「議長は定款により代表理事がこれに当たる」との説明があり、佐藤代表理事が議長に就いた。

議長が定足数報告を求め、横山事務局長は理事総数10名中9名が出席しており、開催要件の定足数6名を充足していること、および監事2名が出席、顧問3名が同席することを報告した。議事録署名人については、代表理事と出席監事がこれに当たることを確認し、議事に入った。

【報告事項】

主な運営事業について

横山事務局長が「主な運営事業について」報告した。「補助金等に関する事項」では、山形新聞・山形放送(合計3,520万円)、山形市(同3,000万円)、山形県(同2,475万円)、山形県生涯学習文化財団(625万円)からのそれぞれ運営寄付金、運営費補助金、事業共催負担金、文化団体等連携支援助成金についての交付実績を報告した。また「運営・管理等に関する事項」では、令和7年11月から進めていた冷却塔更新工事が12月26日で終了したことを報告した。

以上の報告について、質問はなかった。

【議案審議】

第1号議案 令和8年度事業計画(案)の件

岡部副館長がプロジェクターを使い説明した。令和8年度事業計画(案)の主な企画展として、大石田に生まれ、京都で自給自足の営みながら、自然と向かい、水墨表現に独自の画境を拓いた小松均(1902-89)の作品約130点を紹介する「京都 大原に生きた画仙人 小松均 展—自然をまなざす」を春に、夏は代表作・ゲゲゲの鬼太郎をはじめ多くの妖怪作品を生み出した漫画家の水木しげる(1922-2015)の「水木しげるの妖怪 百鬼夜行展～お化けたちはこうして生まれた～」、12月には「国画会100周年記念展」を開催する。従来通り「第81回山形県総合美術展」「第51回山形県総合書道展」「第61回山形県写真展」を従来通りに開く。収蔵品展事業は、フランス近代美術、日本の美術、山形県関係美術を3本柱に、1階展示室で、長谷川コレクション、吉野石膏コレクション、服部コレクションなどのテーマ展を通期で開催し紹

介する。展示施設貸与事業は、21の展覧会を予定する。以上を審議の後、佐藤議長が第1号議案について諮ったところ、満場一致で原案通り可決承認された。

第2号議案 令和8年度予算(案)の件

第3号議案 令和8年度資金調達および設備投資の見込み(案)の件

大澤館長が令和8年度正味財産増減予算書について説明した。収入の部では、受取会費について会員制度の周知、勧誘および企業訪問に取り組んだ結果、法人会員は15万円増の465万円、普通会员は146万円増の476万円とした。また事業収益は、収蔵品展事業収益は本年度と同額の40万円。企画展事業収益は、秋から冬の企画展が展示施設貸与事業に振り替わるため530万円減の4,146万円とした。一方、展示室貸与事業は、単年度の貸与事業として、「謙慎書道会東部展」「紅花の世界展」「平和祈念展 in 山形」「みちのおくの芸術祭 2026」「特撮のDNA展」などを予定し、470万円増の1,290万円を計上した。受取寄附金は山形新聞・山形放送からの3,520万円、受取補助金は山形市からの3,000万円、受取助成金は山形県生涯学習文化財団からの625万円、受取負担金は山形県からの2,475万円。基本財産受取利息と雑収入の受取利息は預金利率の上昇に伴い、それぞれ7万円と10万円を見込んだ。これらの結果、経常収益計を1億6,543万3千円、前年度比で117万1千円増となった。

一方、経常費用は、全体として経費節減に努めた内容とした。事業費の役員報酬は本年度同額、給与手当は県の人事委員会勧告を踏まえたベースアップ等を見込み40万円増の2,950万円、臨時雇賃金は受付・館内監視業務担当の欠員補充等のため257万円増の850万円とし、退職給付費用および福利厚生費は本年度同額を計上した。営繕修理費は、高圧電流を館内で使用できる電圧に変換する設備(高圧受電設備)が老朽化しており、その更新に1,680万円を予定し、その他の増減見込みと合わせて、300万円増の3,600万円を計上した。印刷製本費は、新たな総合パンフレット作製を予定するものの、本年度は第50回記念山形県総合書道展の記念誌を作製したこともあり、190万円減の506万円とした。燃料費は、燃料高騰と本年度の実績を踏まえて132万円増の860万円。光熱水料費は、事業内容と本年度の実績を踏まえ、展示室照明のLED化による節電効果も考慮し、243万円減の1,655万円を計上した。賃借料は、LED照明のレンタル料の増加を月約10万円と見込み、122万円増の380万円とした。保険料は、吉野石膏コレクションの寄託解除時期がまだ見通せないため、45万円減の582万円。諸謝金は、事業内容を踏まえ、97万円減の158万円、委託費は、春と夏の企画展に要するもので369万円増の1,850万円。展示設営費は、事業内容を踏まえ157万円減の822万円、宣伝販促費は、同様に95万円減の123万円とした。これらの結果、経常費用は、合計2億4万円となり、令和7年度予算との比較では407万5,000円の増となった。

以上の結果、当期経常増減額は、3,460万7,000円のマイナス。減価償却費2,812万円を除いた実質の収支は、648万7,000円のマイナスとなる。令和8年度の一般正味財産増減額は3,460万7,000円のマイナスで、一般正味財産期末残高は6億6,963万2,000円になる。指定正味財産期末残高は11億9,403万6,000円になる。正味財産期末残高は18億6,366万6,000円になる。

また、令和8年度に予定している設備投資はないことが報告された。

本件について審議の後、佐藤議長が第2号議案と第3号議案それぞれについて諮ったところ、全会一致をもって可決承認された。

その他

大澤館長が説明に立った。「吉野石膏コレクション」について、吉野石膏が都内に建設している文化施設が完成し、今年の秋以降には収蔵庫に作品を収蔵できる。当館は今年8月まで展示を予定している。寄託解除および作品移動のスケジュールについて協議していく。「公益財団法人 安達峰一郎記念財団からの作品寄託」については、絵画と彫刻の合計48点の寄託が見込まれ、同記念財団の理事会と評議員会で審議された後に、寄託申込書が正式に提出される予定だ、と説明した。

その他に参加理事、事務局から発言はなかった。

7. 閉 会

佐藤議長が、以上をもって全議案の審議を終了した旨を述べ、午後1時40分に閉会を宣言した。

令和7年度 主な運営事業

【登記・許可に関する事項】

月 日	曜	内 容
8月26日	火	山形地方法務局に役員変更に伴う登記完了。県に変更を電子届出した。

【補助金等に関する事項】

月 日	曜	内 容
5月15日	木	山形新聞社より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
5月23日	金	山形県より令和7年度の山形県博物館事業共催負担金840万円を受領した。(1回目)
5月30日	金	山形放送より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(1回目)
6月5日	木	山形市より令和7年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(1回目)
6月19日	木	山形県生涯学習文化財団より令和7年度文化団体等連携支援助成金312万5,000円を受領した。(1回目)
7月16日	水	山形放送より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
7月23日	水	山形県より令和7年度山形県博物館事業共催負担金810万円を受領した。(2回目)
8月15日	金	山形新聞社より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(2回目)
9月4日	木	山形市より令和7年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(2回目)
10月8日	水	山形県生涯学習文化財団より令和7年度文化団体等連携支援助成金210万円を受領した。 (2回目)
10月15日	水	山形放送より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)
10月28日	火	山形県より令和7年度山形県博物館事業共催負担金800万円を受領した。(3回目)
11月17日	月	山形新聞社より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(3回目)
12月4日	木	山形市より令和7年度山形美術館運営費補助金1,000万円を受領した。(3回目)
1月9日	金	山形県生涯学習文化財団より令和7年度文化団体等連携支援助成金102万5,000円を受領した。(3回目)
1月15日	木	山形放送より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)
1月21日	水	山形県より令和7年度山形県博物館事業共催負担金25万円を受領した。(4回目)
2月16日	月	山形新聞社より令和7年度の運営寄付金440万円を受領した。(4回目)

【運営・管理等に関する事項】

月 日	曜	内 容
4月11日	金	企画展「まるごと馬場のぼる展 描いたつくった楽しんだニャゴ!」オープン。(～5月25日、入館者30,253人)
4月11日	金	「長谷川コレクション①描かれる動物たち(～5月25日)」と「吉野石膏コレクション①印象派一光を捉える(～6月1日)」オープン。
5月21日	水	中山眞一、長谷川憲治 両監事により令和6年度の監査が行われた。
5月28日	水	「長谷川コレクション②季節の情景―梅雨から夏へ(～7月6日)」オープン。
6月1日	日	LED照明第1期工事分(1,2階展示室)の設備レンタル開始。(～2033年5月分の8年間、その後、無償譲渡)
6月2日	月	令和7年度 第1回理事会を山形グランドホテルで開催。
6月3日	火	「吉野石膏コレクション②没後40年マルク・シャガール特集展示(～7月6日)」オープン。
6月17日	火	令和7年度 定時評議員会を山形グランドホテルで開催。
6月17日	火	令和7年度 第2回理事会を山形グランドホテルで開催。
7月11日	金	「長谷川コレクション③芭蕉の短冊と蕪村の屏風(～8月23日)」と「吉野石膏コレクション③人物を描く(～8月23日)」オープン。
7月11日	金	企画展「古代エジプト美術館展」オープン。(～8月23日 入館者52,899人 ※歴代5位)
8月30日	土	「長谷川コレクション④書画・彫刻・工芸(～10月26日)」と「吉野石膏コレクション④静物画と風景画(～10月26日)」オープン。
8月30日	土	「第80回記念山形県総合美術展・第67回こども県展(～9月15日)」開幕。(入館者7,499人)
9月20日	土	「第50回記念山形県総合書道展(～10月5日)」開幕。(入館者2,370人)
10月31日	金	「長谷川コレクション⑤紅花商人ゆかりの名品(～12月7日)」と「吉野石膏コレクション⑤エコール・ド・パリの画家たち(～12月7日)」オープン。
10月31日	金	企画展「小野皓一/サイトユフジ展(～11月16日)」開幕。(入館者2,360人)
11月4日	水	消防訓練を実施。
12月12日	金	企画展「富岡鉄斎 紅花商人ゆかりの(山)長谷川コレクション(～2026年1月25日)」開幕。(入館者5,703人)
12月12日	金	企画展「山形銀行所蔵によるやまがたの風景(～2026年1月25日)」オープン。
12月12日	金	「吉野石膏コレクション名作選Part1(～2026年1月25日)」オープン。
12月19日	金	令和7年度 第3回理事会を山形グランドホテルで開催。
12月26日	金	冷却塔更新工事が終了。
1月28日	水	「長谷川コレクション⑥山形に伝わる江戸から明治の美(～3月22日)」と「吉野石膏コレクション名作選Part2(～3月22日)」オープン。
2月19日	木	「第60回記念山形県写真展(～3月22日)」開幕。(入館者6,685人)
3月9日	月	令和7年度 第4回理事会を山形グランドホテルで開催。

【令和7年度 維持会員入会状況】

令和7年4月1日～令和8年3月31日

単位：口

	令和7年度	令和6年度	増減	備考
法人会員	92	90	2	年間一口5万円 (特典：1口につき優待券10枚)
特別会員	28	29	-1	年間一口7千円 (特典：同伴者3名入館可)
普通会員	941	706	235	年間一口5千円 (特典：同伴者1名入館可)

※学生会員 1名 (高校 年間一口2千円)

■キャンパスメンバーズ制度加入校 8校(9件) (前年 9校[10件])

山形大学

東北芸術工科大学

東北文教大学・東北文教大学短期大学部

放送大学山形学習センター

山形デザイン専門学校

山形厚生看護学校

山形県立保健医療大学

山形県立産業短期大学校